



平成28年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年9月7日
東

上場会社名 株式会社ミサワ 上場取引所
 コード番号 3169 URL <http://www.unico-fan.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三澤 太
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 鈴木 裕之 (TEL) 03-5793-5500
 四半期報告書提出予定日 平成27年9月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年1月期第2四半期の連結業績 (平成27年2月1日～平成27年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年1月期第2四半期	4,208	6.5	152	△64.9	146	△66.4	69	△69.3
27年1月期第2四半期	3,951	28.8	436	84.2	436	83.2	226	97.6

(注) 包括利益 28年1月期第2四半期 69百万円(△70.8%) 27年1月期第2四半期 236百万円(145.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年1月期第2四半期	10.15	10.03
27年1月期第2四半期	36.27	34.15

(注) 当社は平成27年2月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年1月期第2四半期	3,914	1,911	48.8
27年1月期	3,604	1,492	41.4

(参考) 自己資本 28年1月期第2四半期 1,910百万円 27年1月期 1,492百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年1月期	—	0.00	—	—	—
28年1月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年1月期の連結業績予想 (平成27年2月1日～平成28年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,448	10.5	406	△37.2	400	△39.6	184	△50.2	26.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

28年1月期2Q	7,092,600株	27年1月期	6,256,800株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

28年1月期2Q	441株	27年1月期	441株
----------	------	--------	------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年1月期2Q	6,863,824株	27年1月期2Q	6,255,597株
----------	------------	----------	------------

当社は平成27年2月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数及び期末自己株式数、並びに期中平均株式数を算出しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想値と異なる結果となる場合があります。詳細は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安や堅調な株式市場を反映し、製造、金融など大企業を中心に好業績を上げる企業が増加する一方、中国経済の若干の減速や、EU圏の金融市場混乱等のネガティブな要素もありますが、引き続きアメリカ、EU圏の緩やかな景気拡大が続いており、総じて緩やかな成長基調にあります。

当社グループが属する家具・インテリア業界におきましても、輸入品の値上がりや人件費支出に対する企業の慎重な姿勢により、家計所得が伸び悩み、未だ力強い回復には至っておりません。

このような状況のもとで、当社グループは「肩の力を抜いた自分らしい暮らしの提案」というコンセプトをもとに事業を展開し、当社グループの中核事業にあたるunico事業におきましては、2015年新作カタログ発売に合わせた「カタログプレゼントキャンペーン」、新生活や模様替え需要に応えた「配送料無料キャンペーン」、夏の引越し需要に応えた「お部屋づくり相談会」、unico初となる書籍「ROOM STYLE BOOK with unico」の発売等を実施いたしました。また、food事業におきましては、unicoが提案する世界観やライフスタイルを補完する事業と位置づけております。

また、当第2四半期連結累計期間におきましては、想定を超える円安の進行による仕入れコストの上昇に対応する売価変更対応は行いませんでした。このため、売上高総利益率につきましては、前年同四半期連結累計期間と比較して厳しい結果となっております。

一方、販売費及び一般管理費につきましても、「unicoハウスカード」に対するポイント引当金の計上、東京証券取引所マザーズ市場から東京証券取引所第一部への市場変更に関する費用や、公募増資・第三者割当増資及び有償ストック・オプションの発行に伴うコンサルティング費用等の一時的な負担増加の影響により、前年同四半期連結累計期間と比較して厳しい結果となっております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高4,208,298千円（前年同四半期比6.5%増）、営業利益152,934千円（同64.9%減）、経常利益146,690千円（同66.4%減）、四半期純利益69,635千円（同69.3%減）となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりです。

①unico事業

unico事業における主たる売上であります家具におきましては、定評ある北欧テイストのソファシリーズLYSや、アイアンと木の異素材を組み合わせたシリーズHOXTONを展開し非常に好評いただきました。また、布製品強化の施策として、カーテンの自社企画アイテムの拡大とともに、お客様のお宅にお伺いし、採寸及びご提案させていただく出張採寸制度を多くの店舗で採用しました。これらの商品開発及び新たなチャネル戦略により売上高の拡大を図ってまいりました。

店舗状況におきましては、平成27年4月にunico大分を九州地区3店舗目としてJR大分駅前の商業施設「アミュプラザおおいた」にオープンし、東九州エリアにおけるシェア拡大を図り、同年4月に既存店のunico梅田を国内最大級の駅型商業施設「LUCUA 1100（ルクアイーレ）」に移転することで、梅田エリアのシェア拡大にそれぞれ努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、4,151,210千円（前年同四半期比7.3%増）、セグメント利益は158,141千円（同63.3%減）となりました。

②food事業

Le Bistroでは、SNSによる積極的な新メニュー等の情報発信や口コミにより、新規顧客の獲得に繋がりました。bistro oeuf oeufでは、お客様のニーズに合わせたドリンクメニューの見直しやショップカード等の販促物の見直しにより、リピーター・新規顧客から好評いただきました。

各店とも一時的な人員不足等による営業時間の縮小や本社移転に伴う1店舗の閉店により、売上高・セグメント利益ともに前年同四半期を下回る結果となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、57,088千円（前年同四半期比31.4%減）、セグメント損失は5,207千円（前年同四半期は4,699千円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ309,484千円増加し、3,914,265千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加366,742千円、及び売上高の増加に伴う売掛金の増加24,716千円、並びに基幹システムの再開発等に伴う無形固定資産の増加36,583千円があったことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ109,354千円減少し、2,002,515千円となりました。これは主に、ポイント引当金の計上49,738千円があったものの、未払法人税等の減少146,976千円があったことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ418,838千円増加し、1,911,750千円となりました。これは主に、公募増資及び第三者割当による資本金の増加171,205千円、及び資本剰余金の増加171,205千円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想に関しましては、平成27年6月9日の「平成28年1月期 第1四半期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 追加情報

ポイント引当金

ポイントに係る会計処理について、制度導入後一定期間が経過し適切なデータの蓄積により、将来使用されると見込まれる金額を合理的に見積ることが可能となったこと、及びポイント残高の重要性が増加したことに伴い、第1四半期連結会計期間から、使用実績率に基づく将来使用見込額をポイント引当金として計上しております。この結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益がそれぞれ49,738千円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	442,895	809,637
売掛金	459,653	484,370
商品及び製品	1,039,195	985,249
仕掛品	28,147	25,535
原材料及び貯蔵品	108,499	123,567
繰延税金資産	36,222	36,222
その他	195,123	108,239
流動資産合計	2,309,736	2,572,820
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	515,793	484,669
その他(純額)	128,661	134,911
有形固定資産合計	644,454	619,580
無形固定資産		
繰延税金資産	76,188	112,772
投資その他の資産		
繰延税金資産	142,519	142,519
敷金及び保証金	417,209	452,393
その他	14,672	14,178
投資その他の資産合計	574,401	609,091
固定資産合計	1,295,044	1,341,444
資産合計	3,604,781	3,914,265

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	244,486	247,824
1年内返済予定の長期借入金	331,999	374,120
未払法人税等	210,031	63,055
前受金	253,683	275,846
賞与引当金	55,797	85,658
ポイント引当金	—	49,738
その他	471,932	408,964
流動負債合計	1,567,929	1,505,208
固定負債		
長期借入金	502,993	457,398
退職給付に係る負債	8,504	8,451
資産除去債務	31,345	31,457
その他	1,095	—
固定負債合計	543,939	497,306
負債合計	2,111,869	2,002,515
純資産の部		
株主資本		
資本金	206,283	380,336
資本剰余金	186,283	360,336
利益剰余金	1,118,206	1,187,841
自己株式	△190	△190
株主資本合計	1,510,582	1,928,324
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△17,670	△18,204
その他の包括利益累計額合計	△17,670	△18,204
新株予約権	—	1,630
純資産合計	1,492,912	1,911,750
負債純資産合計	3,604,781	3,914,265

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年7月31日)
売上高	3,951,440	4,208,298
売上原価	1,626,320	1,868,436
売上総利益	2,325,119	2,339,862
販売費及び一般管理費	1,888,936	2,186,927
営業利益	436,183	152,934
営業外収益		
受取利息	38	79
為替差益	1,015	—
運送事故受取保険金	2,206	2,621
その他	1,456	683
営業外収益合計	4,716	3,383
営業外費用		
支払利息	4,100	1,820
為替差損	—	6,599
その他	790	1,207
営業外費用合計	4,890	9,627
経常利益	436,009	146,690
特別損失		
固定資産除却損	—	2,688
減損損失	—	19,978
特別損失合計	—	22,667
税金等調整前四半期純利益	436,009	124,023
法人税等	209,115	54,388
少数株主損益調整前四半期純利益	226,893	69,635
四半期純利益	226,893	69,635

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	226,893	69,635
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	9,494	△534
その他の包括利益合計	9,494	△534
四半期包括利益	236,388	69,100
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	236,388	69,100
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	436,009	124,023
減価償却費	67,489	96,182
減損損失	-	19,978
賞与引当金の増減額(△は減少)	36,825	29,861
ポイント引当金の増減額(△は減少)	-	49,738
退職給付引当金の増減額(△は減少)	470	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	△53
固定資産除却損	-	2,688
受取利息	△38	△79
支払利息	4,100	1,820
売上債権の増減額(△は増加)	△52,317	△24,716
たな卸資産の増減額(△は増加)	41,551	41,863
仕入債務の増減額(△は減少)	△39,971	3,315
前受金の増減額(△は減少)	△57,841	22,163
前渡金の増減額(△は増加)	2,965	△441
前払費用の増減額(△は増加)	4,439	△6,052
未払費用の増減額(△は減少)	908	4,762
未払金の増減額(△は減少)	△12,236	18,827
未払消費税等の増減額(△は減少)	52,990	△52,198
その他	△44,606	56,972
小計	440,737	388,657
利息の受取額	38	79
利息の支払額	△3,819	△1,965
法人税等の支払額	△179,490	△196,831
営業活動によるキャッシュ・フロー	257,466	189,938
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△65,547	△84,280
無形固定資産の取得による支出	△19,295	△55,662
敷金及び保証金の差入による支出	△25,118	△49,102
敷金及び保証金の回収による収入	19,280	30,032
その他	△9,873	△8,938
投資活動によるキャッシュ・フロー	△100,553	△167,953
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△149,385	-
リース債務の返済による支出	△3,287	△1,643
長期借入れによる収入	300,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△189,248	△203,474
株式の発行による収入	18	348,107
新株予約権の発行による収入	-	1,630
自己株式の取得による支出	△35	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△41,938	344,619
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,247	136
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	111,726	366,742
現金及び現金同等物の期首残高	500,856	442,895
現金及び現金同等物の四半期末残高	612,583	809,637

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年2月28日付で新株予約権の行使により379,800株、及び同年4月3日を払込期日とする公募増資により普通株式330,000株、並びに同年4月21日を払込期日とする第三者割当増資により普通株式126,000株を発行いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ174,053千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が380,336千円、資本剰余金が360,336千円となっております。